

主な記事

- 特集 平成31年度予算が可決されました 5
- 3R 講座受講者募集 3
- 市民防災まちづくり学校受講者募集 4
- 国分寺駅・西国分寺駅周辺の自転車等駐車場の定期使用に新料金区分を設定 6
- 5月1日(祝)~12日(日)の休日急病診療 10

市政情報

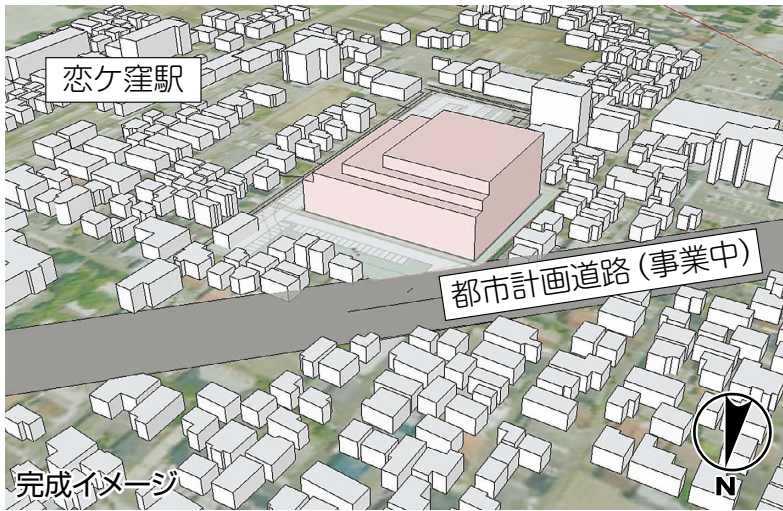


やってるよ!



© ホッチプロジェクト

発行/国分寺市 編集/政策部市政戦略室 〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1-6-1 ☎(042)325-0111 FAX(042)325-1380
市公式ホームページ(市HP)、市公式ツイッター、市公式フェイスブック、市モバイルサイトは、国分寺市 で検索 市長へのファクス☎(042)324-0906

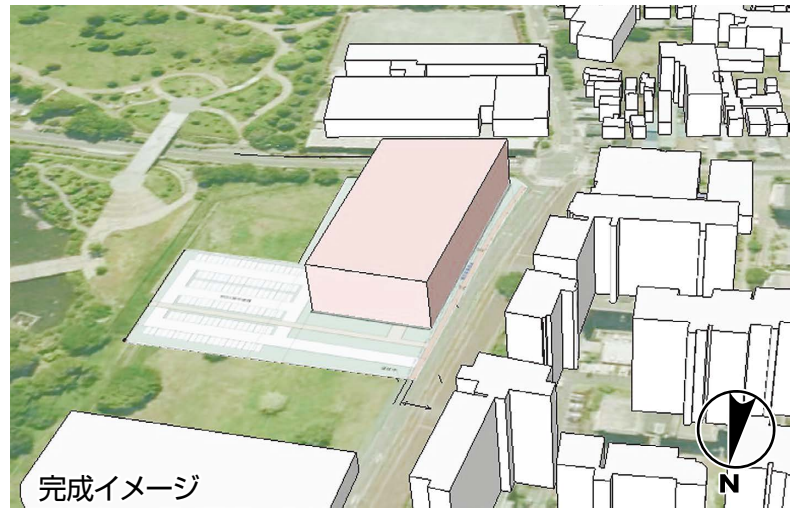


A 現庁舎用地 (戸倉)

敷地面積 約10,800㎡



建設候補地は2か所
新庁舎建設基本構想を策定



B 泉町都有地

敷地面積 約12,600㎡



新庁舎の建設に向け、目指すべき新庁舎の在り方を示した新庁舎建設基本構想を策定しました。策定にあたり、パブリック・コメント(意見提出手続)を実施し(平成30年12月15日号でも掲載)、63人・3団体から71件(反映済みの意見18件を含む)の意見をいただき、そのうち3件を反映しました。意見の概要とそれに対する市の考え方と本構想を公表します。

新庁舎建設基本構想(概要)

基本理念	基本方針
暮らしと命の支えになる	庁舎像 計画姿勢 頼りがいのある 防災拠点として、災害時の事業継続計画(BCP)に配慮し、どんなときでも対応できる万全の性能と機能を確保する 無駄のない 長期の使用を踏まえ、建設費・運用費などを見定めながら、無駄のない性能や仕様を確保する
市政が身近になる	利用しやすい 市民・職員などが、快適な中にも利用しやすく使いやすい、ワンストップサービス等を視野に入れたサービスと空間を確保する 開かれた 多くの市民が、市政に対し関心の持てる雰囲気づくりに配慮し、触れられる場、交流の図れる場を確保する
国分寺の心を育む	愛着の持てる 国分寺らしいデザインに配慮し、市民・職員の思いが盛り込まれた、皆が誇れる庁舎を確保する 調和の取れた 自然環境や周辺市街地と調和し、エコロジーを踏まえた機能を確保する

まとめ

市民アンケートの意見や要望を踏まえ、建設候補地を検討した結果、現庁舎用地は工事中の市民利用に制限がかかるほか、仮設庁舎のリース費や災害対策本部の移設などが課題となりますが、用地取得費が不要であること、長年にわたり庁舎を中心にまちが形成され、市民にとって親しみがあるというメリットがあります。泉町都有地は用地取得費用が必要ですが、工事中に現庁舎が現状のまま使用できるほか、災害対策拠点として国分寺消防署、広域避難場所(都立武蔵国分寺公園)、医師会災害対策本部(いずみプラザ)と近接しているというメリットがあります。
※庁舎の位置を変更する場合は、地方自治法第4条第3項により、市議会での3分の2以上の賛成が必要

今後の進め方

新庁舎に求められる機能を多様な視点から検討し、基本構想を具体化した(仮称)新庁舎整備基本計画を引き続き策定することになるため、市民参加の場を設けて多様な意見を収集するとともに、品質とコストのマネジメントを意識し、精度の高い総事業費の算出をしていく必要があります。
なお、新庁舎に関しては、公共施設の適正再配置を促進する可能性がある先駆的事業として、早期に事業効果を発現できるように検討を進めていきます。

公表期間6月7日(金)まで

公表場所①政策経営課(市役所第3庁舎)②オープナー(同附属棟)③各公民館・図書館・地域センター・児童館④本多図書館駅前分館⑤cocobunji市民サービスコーナー(cocobunji WEST5階)⑥国分寺市内所(同1階)⑦国立駅前市民サービスコーナー(国立駅前にたち・こくぶんじ市民プラザ内)⑧福祉センター⑨いずみホール⑩いずみプラザ⑪武蔵国分寺跡資料館⑫市民スポーツセンター⑬市民室内プール⑭子ども家庭支援センターぶんちゅ⑮いずみプラザ⑯市HP※閉庁日・閉館日にご注意ください。公表期間以降も、各施設に備え付けの公共施設等マネジメント情報ファイルをご覧ください

パブリック・コメントの結果、基本構想に反映した意見

4. 新庁舎の建設候補地について 表4-2建設候補地の特徴(15~16ページ)

- 「広域避難場所との近接性」にけやき公園・都立小平南高校一帯との距離を追記
- 「最寄駅」に徒歩時間を参考として追記
- 「利便性」に地理的中心との近接性を追記

パブリック・コメントで多く寄せられた意見の概要(抜粋) ※このほかにも建設候補地などに関する意見をいただきました

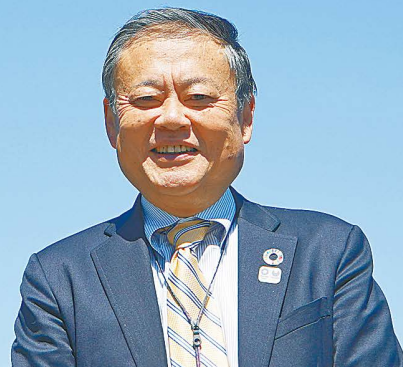
2.2 新庁舎に求められる機能(11ページ)	反映状況	6. 新庁舎の想定事業費の算出 表6-1想定事業費(19ページ)	反映状況
意見の概要 ガラス張り吹き抜けの大空間は快適な空調が難しく、エネルギーロスの多さや使用可能なスペースの圧迫につながる。吹き抜けや大空間を無くし、断熱性が高く、必要な所だけを適温に空調したり、会議内容に合った会議室や適度な外光採用など、働きやすく、建物の手入れもシンプルな市庁舎とするのがよい	済	意見の概要 想定事業費に関して、候補地選定のための工事費の比較なので、土地取得費用は別欄にすべきで、財産が増える認識が必要である。また、移転に伴う新たな備品や長期にわたるメンテナンス費用など、もっと細やかな検討が必要であり、想定費用を市としてどのように考えるのが明確にすべきである	無
市の考え方 環境配慮は大切な視点であり、「(8)環境に配慮した庁舎」に自然エネルギーの積極的な活用で環境負荷を低減し、エネルギー効率の高い庁舎とする考え方を記載しています。今後新庁舎の詳細を検討する際の参考としていきます		市の考え方 用地取得費も総事業費の想定に必要と考えています。事業費に関しては、必要なものを想定していると認識しており、今後も精査して事業費の抑制に努めます。その際には、ランニングコストも重要な視点であると考えています	
※このほかにも環境配慮を求める意見は2件ありました		※このほかにも想定事業費やランニングコストなどの精査を求める意見は2件ありました	
3. 新庁舎の規模(12ページ)	反映状況	事業の進め方について(市民参加)	反映状況
意見の概要 他自治体の庁舎の数値を根拠などにした延床面積は本当に妥当なのか疑問である	済	意見の概要 今後、計画の実行状況等をこまめに市民に通知して欲しい	無
市の考え方 同規模他自治体の平均値だけでなく、現庁舎の調査で得られた数値も踏まえて算出しています。無駄のない庁舎とするため、新庁舎の規模は今後さらに精査します		市の考え方 適宜分かりやすい市民周知を行います	
※このほかにも新庁舎に必要とされる延床面積の妥当性に関する意見は4件ありました		※このほかにも市民参加に関する意見は5件ありました	

新庁舎建設市民懇談会

新庁舎について副市長と語ろう

基本構想の次の段階である基本計画の策定に向けて、4月に開催した懇談会の様子や現在の検討状況などをお知らせし、新庁舎建設に関する意見を伺うため、市民懇談会を開催します。新庁舎建設に関して内藤達也副市長と語り合ってみませんか。

懇談会日程表	日時	会場※当日直接会場へ
5月10日(金)	午前10時~11時30分	本多公民館
13日(月)	午後6時30分~8時	リオンホール
14日(火)	午後2時~3時30分	並木公民館
15日(水)	午後2時~3時30分	恋ヶ窪公民館
21日(火)	午前10時~11時30分	光公民館
	午後2時~3時30分	ももまち公民館
6月2日(日)	午前10時~11時30分	市役所書庫棟会議室



→政策経営課(内498)